

# 栗東市中小企業振興会議第19回専門部会要約

平成27年12月1日(火) 午前10時00分～11時30分

栗東市役所2階 第3会議室

## 1. 開会

## 2. あいさつ

(座長あいさつ:省略)

## 3. 協議事項

### (1) 栗東市商工振興ビジョンロードマップ(案)について

- ・商工振興ビジョンロードマップに向けた意見概要と修正(案)－資料1, 資料2

#### 事務局

---

事務局説明:省略

#### 委員

---

ふるさと納税で成功しているまちとそうでないところがある。栗東市民に栗東のものを買ってもらったり、市民に向けてふるさと納税への周知を図った方がいいのでは。地域経済の循環につながる。

#### 座長

---

ふるさと納税で収入を市に向けること大切だが、むしろそれをきっかけに栗東の地域のことを知ってもらう機会にすることや、広報のいいきっかけとして捉えていただくことがいいのでは。

#### 委員

---

お米やいちじくが地域資源とあるがそれほど突出しているのか。

#### 委員

---

栗東米は評価が高く、地域内外にPRすることは大事。市も農協も推している。いちじくについては栗東産はブランド化しているし、滋賀県内の大手スーパーでも栗東産のいちじくとして並べられていて、知名度は高い。

## 座長

---

お米、いちじくといった農産物が外に向かって知られているという市民の共通認識が得られれば、先行事例として紹介して、それに続くものを支援していくという趣旨で挙げていくことは望ましい。農産物と記述するよりも、あえて「いちじく」という具体例を出したほうが目に留まってよい。

## 委員

---

甲賀市では「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」を作られた。おもしろい取り組みだと思うので、栗東でもそういったことができないか。もう一点は、空き店舗が増加している点は重要な問題だと思う。

## 事務局

---

空き店舗だけでなく、空き家の問題も重要な課題。その解決策の一つがチャレンジショップである。また後ほど説明する施策でも検討している。

条例についても、栗東市内で機運が高まっているものがあれば参考とさせていただきたい。

## 座長

---

学生が栗東駅前ですったアンケートによると、高齢者が休憩できるスペースがほしいということがはっきりしていて、それを喫茶店という形にするのがいいのかということもあるが、こういった発想も必要かと思う。

## (2) 栗東市商工振興ビジョンロードマップ(案)に基づく事業実施計画(素案)について 資料3、資料3-1、資料4

## 事務局

---

事務局説明：省略

## 座長

---

資料4の5ページの「消費者ニーズ調査および市民・消費者ワークショップ」のところに「事業者」も入れていただきたい。ただ消費者の意見を聞くだけでなく、さらに

事業者の方のリアクションを返して、それをまた返す「コミュニケーションの場」として相互に考えていく機会としていく必要がある。

#### 委員

---

観光客に来ていただくにしてもトイレが少なすぎる。あるところにしても、もっと周知すべき。マップの拡充が必要。

#### オブザーバー

---

ロードマップの事業を推進していくに際して、商工会も協力するが、市の現状の人員体制ではたいへんなのではないかと。マンパワーの充実も必要。

#### 事務局

---

条例を制定し、振興ビジョンやロードマップを策定し、総合戦略に位置づけ、栗東がこの分野に力を入れることと、それを見せていくことが重要と考えている。人員に関しても施策に応じて内部協議をしていく。

#### 委員

---

目指すべき人口目標が2060年に72,000人とあるが。

#### 事務局

---

これは地方創生懇談会で、市の「人口ビジョン」（現在策定中）のなかで、目標数値を掲げたもの。人口問題研究所の人口推計を参考に設定されている。

また、現状では栗東市は生産年齢人口が多いが、将来的には、高齢化がハイスピードでやってきて、人口ピークを迎えた後、人口の減少スピードも速くなる。人口減少は避けられないので、減っていくスピードを緩やかにするには何をすべきかということが議論されているところ。

#### 委員

---

創業塾、創業支援希望、空きテナントのチャレンジショップなど、新しく起業される方を対象とした施策が多いが、イメージとして既存の中小企業の振興策はセーフティネットの活用などの施策があるものの、少し薄いように思う。また、今ある施策、施設などの周知・配信が大事。

#### 事務局

---

一つの背景として、ロードマップを作っていく過程の中で創業支援計画というものを

策定し、平成27、28、29年の3年間で取り組んでいくことが、新たに出てきており、限られた期限内に特化して進めることとされている。既存企業の支援も必要ということも認識しており、進行管理のなかで、ご意見を聴いて毎年見直しを行い、反映させていきたい。また、中小企業のためのガイドブックや、メールマガジンを作ったり、市のホームページや広報だけでなく、違う情報発信ツールも含めて既存の事業所への支援も検討していきたい。

#### 委員

大野神社や森田まさのりさんなど話題性のあるものを利用してはどうか。観光資源があるのに使われてないような気がする。今あるものを活かして聖地化することなどできないか。また外国人にも来て頂けるようにしていただきたい。

#### 事務局

商工振興をしていく上で観光というものを見たときに、どうあるべきか。観光振興という部分で栗東市はどうしていくべきかという本体の部分で考えていきたい。

#### 委員

近隣企業として、小中学校の出前講座のようなことができないか。地元の子供が就職してくれるというのは、地元企業としても興味深い。

#### 座長

事業継承に関する施策も必要では。

### (3) 新規施策等の公表について

#### 事務局

時間の都合もありますので、ご意見シートにてご意見をいただきたい。

次回専門部会は12月22日午前10時からで調整する

## 4. 閉会